第 286 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議　　題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和元年７月２５日

株式会社エフエム石川

第 286 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日　　令和元年 6 月 12 日

2. 開催場所　　　エフエム石川本社

3. 委員の出席

　総委員数　　８名
　出席委員数　６名

出席委員の氏名（５０音順）
委員長　：柳澤良一
委　員　：大場司、工藤彩子、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

放送事業者側出席者氏名
　代表取締役社長　平田　信也
　放送部長　　　　安地　昭博

4. 議題
　業務概要の報告
　番組試聴と質疑・意見交換

議事内容
［業務概要の報告］
番組としては、小松市の「お旅まつり」に先立ち、15 分の広報番組を４日間放送したこと。また、まつり初日（5/10）にお昼のワイド番組「Flyin' Pop」（金 11:30-15:25）で会場からの電話リポートを入れ、盛り上がりを伝えたことが報告されました。
イベントでは、５月 18 日に「ミシンのナカガワプレゼンツ　ハローファイブ Awesome Sewing School Vol.3（オーサム・ソーイング・スクール）」を開催し女性７名が参加したこと。５月 19 日に「金沢競馬　競馬体験会」を開催し 47 名の参加者があったこと。５月 26 日に海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」の県内海岸一斉清掃を金沢、白山、羽咋、内灘、中能登、能登の６つの市と町で開催し、合計約１万４千人が参加したことが報告されました。
また、６月１日に「片町きらら広場」および歩行者天国となった国道 157 号線で『片町スポージックフェス 2019』の運営協力を行い、地元アイドルのステージのほか、３on３のミニゲーム、フットサル体験、セグウェイ乗車体験で賑わいを創出したことが報告されました。

［番組の試聴と質疑・意見交換］
＜今回の試聴番組について＞
【試聴番組】
番組タイトル：　小松市お旅まつりインフォメーション
放送日時　　：　5/6(月)～9(木)　14:40 - 14:55
出　　演　　：　松岡理恵（フリーアナウンサー）
[お旅まつり関係者]
5/6　福島利雄（曳山八町連絡協議会会長）
5/7　岸野達也（大文字町若連中）
5/8　国分浩弥（京町五人衆）
5/9　麻本賢治（小松市観光文化課）

【番組内容】
小松市の「お旅まつり」(5/10～12 開催)の広報番組として期間限定で放送しました。15 分番組の前半は「お旅まつり関係者」に概要や見どころなどについて話していただき、後半は松岡理恵によるインフォメーションという構成です。関係者の説明によって、成り立ちや見るだけでは分からない曳山の話、250 年の歴史をもつ全国的にも珍しい子供歌舞伎などを分かり易く伝えることでリスナーの理解を深めてもらい小松市へ足を運んでいただくことを目的としています。

■工藤委員

この番組を聞き、映像やデザインなど視覚的な情報を言葉で伝える難しさを感じました。祭りを見たことがない人が初めて聞いたときに、頭の中に映像が浮かべられないように感じます。初心者にも分かりやすく情景を説明する回を作ってほしかったです。「みよっさ」など施設名や地名がたびたび出てきますが、小松の土地勘がない人にはピンとこないと思います。例えば、小松駅からのアクセスやロケーションの情報を伝えても良いのではないでしょうか。歴史を知る関係者の話を聴くのは大変良かったです。祭りの初心者と中級者を分けて放送してほしかったです。また、歌舞伎に出演する子どもの声を聞きたかったです。演目を説明するときに「遊郭」「女郎」「仇討」などの言葉がたくさん出てきますが、そうした言葉を子どもたちにどのように説明し文化を継承しているのか、個人的に大変興味があります。来年以降はそうしたことも取り上げてほしいです。

■大場委員

生でお旅まつりを見たことがない私にとっては、イメージが湧きませんでした。子どもたちのインタビューや見所の解説もなく、歌舞伎の面白さも伝わってきませんでした。構成に工夫がなく、インフォメーションが長すぎ、聞くのがつらかったです。二人のパーソナリティで進行したり、関係者の方とのかけ合いを入れたりなど、工夫がほしかったです。退屈な内容に対して、松岡さんの「おもしろい」「ドラマチック」という感想はオーバーに感じました。

■久保委員

私は５年間小松で仕事をしたので、お旅まつりは全部見ています。番組で一番気になったのは BGM でした。津軽三味線が使われていましたが、実際はもっとしっとりした三味線の音色です。BGM にするのであれば過去の音源を使ったほうがリアルになっていいと思います。松岡さんと関係者が会話しているように編集していましたが、実際に会ってインタビューをした祭りの音源を流していないためリアルさが欠けていました。同じトーンの内容が四回続いたのは残念です。４回のうち１回でも違った内容にするなど、変化があれば良かったです。インフォメーションについては、駐車場やアクセスについて具体的な情報があったほうが良かったと思います。お旅まつりにはぜひたくさんの人に訪れてほしいので、こういう番組を放送することは良いと思います。来年も放送するのであれば、パンフレット的な内容ではなく、エフエム石川の色が出るよう工夫してほしいです。

■宮川委員

お旅まつりを紹介する番組としては、とても良いと思いました。関係者の方がそれぞれの立場で詳しく紹介するという構成は良いと思います。ただ、私も三味線の音が気になりました。実際の祭りの音源を流してほしかったです。一方で、子どもたちが上演を重ねるうちに少しずつ上手くなっていくという話が聞け、ぜひ子どもが成長する姿を生で見てみたいと思いました。しかし、BGMとして流している口上の音が全部同じだったので、変化をつけた構成にしたほうが良いと思いました。インフォメーションは駐車場の情報など、実際に行こうと思った人に役立つ情報を入れてほしかったです。地理を理解している小松市民に向けての情報が多い印象を持ちました。

■平木委員

私も皆さんと同じ意見です。津軽三味線を BGM に選んだことはおかしな話です。歌舞伎のお囃子をしっかり入れるべきです。演目の内容をもっとしっかり紹介してほしかったです。周辺の情報が多すぎて記憶に残りませんでした。最後に口上が流れたことでようやくお旅まつりの感じが出たと思います。昨年の名場面を入れたり、子供の練習風景を入れたりしてほしかったです。

■柳澤委員長

私も同じトーンが 4 回続いて単調に思いました。ラジオにとって一番大切なものは音源です。積極的に色んな音源を蓄えて、来年に活かすなどしないと、リスナーに行って見てみようと思ってもらえる番組にはならないと思います。もっと動かないとラジオが消えてしまうと思います。子どもが演じる声や拍手の音などを流せば、リスナーにもっと届くはずです。また、松岡さんの鼻濁音が完全ではなく耳障りでした。「ご紹介してください」という表現は間違いで「ご紹介をお願いします」というのが正解です。全体としてもう少し工夫が必要なのではないかという意見が多かったです。

[審議会の答申、または改善意見に対してとった措置]

制作者に内容を伝達

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第 286 回番組審議会の議事概要の公表

令和元年 6 月 22 日(土) 19:55 ～ 20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインターネット・ホームページへの掲載